

和歌山東南国際ロータリー第2640地区 ロータリークラブ

2004~2005



週報

2004~2005 会長:中村美之 / 副会長:八塚啓司 / 幹事:神谷尚孝 / SAA:郷間博敏
 〒640-8227 和歌山市西汀丁26 経済センター7階 TEL.073-423-3666 FAX.073-423-7200
 E-mail:a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary/rotary.html
 例会日時:第1・2水曜日(18:30) / 第3・4・5水曜日(12:30) 例会場:『華月殿』(和歌山市屋形町2-10)
 2004~2005年度RIテーマ ~ロータリーを祝おう~
 RI会長:グレン E. エステス シニア 2640地区ガバナー:中島治一郎(泉大津RC)

クラブ会報委員会
 委員長:井畑順三 副委員長:鯨 拓也
 委員:竹中昭美 栗原 登

本日 (9月15日通算1646回目 本年度10回目)の例会
 ガバナー公式訪問 中島治一郎 RI2640地区ガバナー
本日のソング
 それでこそロータリー

先週 (9月8日通算1645回目 本年度9回目)の例会報告 郷間SAA

出席報告 【会員数】 44名(内出席免除会員6名・名誉会員1名) **出席率をアップさせよう**
 ◇前回(9月8日)26名(68.42%) ◆メークアップ後(8月25日)32名(84.21%) 出席委員長 駒阪純章

会長報告 中村美之会長

今晚は、本日は和歌山県庁青少年課副課長 平林修市様に卓話をお願いしています、宜しくお願い致します。
 報告が1件ございます。台湾東南RC蔣銘様より地震のお見舞いのFAXを頂きました、ご紹介いたします。

前略、昨夜当地のテレビで和歌山付近にマグネチュード6.8級の地震が発生し津波警報も出て居ると云うことを知りました。詳細な報道は出て居ませんので、台北ロータリークラブ会員一同は皆、貴クラブの会員家族一同の安否、地域での災害状況、事業への影響はどうでしょうかと心配しております。
 皆様の御無事と事業に差支へのない事を心からお祈りして居ます。
 略式ながら書中で御見舞い申し上げます。
 敬具
 台北ロータリークラブ 社長 蔣 銘

- ▼ロータリー年度100年の変遷
 - ・昭和1年(1926)78年前。SBカレー粉。ヘミングウェイ「陽がまた昇る」発表。大正天皇ご崩御。「酋長の娘」流行。
 - ・昭和2年(1927)77年前。東京で初の地下鉄開通。リンドバーグ大平洋横断に成功。ペーブルス60号ホーム。金融恐慌始まる。「ちゃっきり節」流行。
- ▼今日は何の日
 - ・サンフランシスコ平和条約調印記念日。米の日(毎月) 吉田茂全権大使がサンフランシスコ対日講和条約と日米安全保障条約に調印(1951)53年前。
 - ・東京五輪の聖火リレーはじまる(1964)40年前。
 - ・国際識字デー(39年前) 1965年のこの日、イランのパーレビ国王が軍事費の一部を識字教育に回す提唱をしたことを記念して、識字教育を推進するユネスコが制定した日。識字とは「読み書きができる」という意味。識字率の高い日本では実感しにくい、世界には戦争や貧困によって読み書きのできない人が10億人以上いるといわれる。

ニコニコ箱 奥村智子 会計

土井君 ◆ 平林さん、青少年をよろしく。
 竹中君 ◆ 奥村会計さま、おいしくいただきます。ありがとう!
 奥村(智)君 ◆ どういたしまして、こちらこそお世話になりました。
 合計10,000円(累計623,295円)

幹事報告 神谷尚孝幹事

- 2640地区H.P充実と協力のお願いがまっています。
 - メンバーサイトに、新しく「事務局伝言板」「メークアップ連絡メール」や「クラブの広場」コーナーを新設しました。このコーナーでは各クラブの活動紹介や週報の紹介などの情報交換の場を設けています。各クラブで実施された活動を投稿して下さい。
 - 「メーリングリストサービス」を始めます。これは登録した会員が、特定のアドレスに送信すると登録者全員に同一メールが配信される仕組みで、会員相互の情報交換には便利なシステムです。登録を希望される会員は、事務局渡辺さんまで。
 - 事務局伝言板を見るには、ユーザー名をri-2640.nakajimaと入力して下さい。
- 中島ガバナーより、WCS「水プロジェクト」に協力のお願いが来ています。バングラディッシュ・フィリッピン・スリランカ・ウガンダ・ジンバブエなど九つのプロジェクトが支援を待っているとの情報です。クラブ単独またはIM単位でも協力をして欲しいとの事です。
- 2640地区第3組のIMが10月30日(土)和歌山市民会館で「地域の活性化」をテーマに開催されますが、この出席奨励にホストのアゼリアRCから3名のPR隊が9月22日の例会に来られます。
- 北東南RC蔣銘会長から、去る9月5日に発生した地震のお見舞いが、翌日事務局へ会長宛に戴きました。

ロータリー財団 松浦 薫 委員長

吉田君 ◆ 本日、新世代クラブフォーラムで和歌山県庁から平林副課長に卓話お願いしております。よろしくお願い致します。
 奥村(智)君 ◆ 楠本様、井畑様今夜もお世話になります。
 合計10,000円(累計77,000円)

35周年記念BOX 釜中 甫千 委員長

山口君 ★ 35周年記念BOXにご協力お願いします。
 井畑君 ★ 「柔道フェスタ」にたくさんの方々のご協賛をいただき、ありがとうございました。
 合計10,000円(累計203,000円)

来週 (9月22日12:30)の例会 会員卓話 (株)エヌテック 代表取締役 西田 義昭 会員

和歌山県 青少年課副課長 平林 修市 様



新山

深刻な状況にあります。また成人を含む全犯罪の約半分が青少年事件が占めることから少年非行問題は依然として軽視できないのが実情です。

子供達が犯罪や非行にはしる理由として、「家庭」「学校」「地域社会」の問題に分けて考えられますが、これからの時代を担っていく子供達を健全に育成するというのは、我々大人に課せられた重大な使命です。しかし、今の世の中、薄情と無責任がはびこっています。責任というのは、原因の所在によって問われるものではなく「立場」によって問われるものであり、「親は親の立場で」「学校は学校の立場で」責任を取る必要があるのではないのでしょうか。

今の子供の特徴は、人との関係が取れない、表現力が乏しい、人の痛みや悲しさに共鳴できない、他人事として平気でいられる、弱者に対する思いやりの欠如がいわれています。また、家庭における教育機能の低下、過保護・過干渉、親の教育方針の不一致であることに問題があるとも言われます。親の持つ期待感が、子どもたちを駄目にする場合があります。また、父親の権威の失墜が一因であると考えられます。子が親の願望を叶えようと、幼いうちから良い子でありすぎると思春期になって様々な心の問題が生じてくることはよく知られています。専門家などは、子どもが怒ったり、泣いたりするネガティブな感情をきちんと大人に受け取ってもらって育つことが必要である。叱ることだけを繰り返していると、ネガティブな感情は社会化されず、得体の知れない危険なものとして成長してしまうと指摘しています。

核家族で、子どもの数が少なく、兄弟がない状況の中で、我慢する力が子どもに育ちにくくなり、すぐキレルという傾向が見られます。我慢できない子どもは、動物的な欲求に根ざした行動が多くなり、道徳規範を逸脱した振る舞いが多くなると言われます。幼児期の子どもに対しては「しつける」ことが大切であり、やってはいけない事は理由なくやってはいけない事として教える。そして自我が形成されてきた小学生頃は「教え、育てる親」に、思春期の中学生以降は、子どもが悩んだり、迷ったりしているときは、アドバイスや指針を与えたりする「見守る親」にと、親自ら変えられることが、自立したやさしい子どもを育てることができるのです。昔の家庭は大家族制度で、隣近所の関係もしっかりしていましたが、今や家庭は崩れてきて、叱るべきところにおいても、叱れない親が増えているように思います。

次に子どもが多く過ごす学校。事情、原因が多種にわたると思いますが、何気ないことで学校でハメを外してみる。例えば、窓ガラスを壊してみた。その結果「先生は、それほど恐くない」と分かれば子どもは学校で暴れることによりストレスを解消しようとし、次に食わない奴をいじめてみた。弱い子をいじめるのは面白い、鬱憤晴らしにいじめが日常化するようになることが考えられます。いじめはなかなか発覚しにくく、その理由には「子ども自身のプライド」「親に心配をかけたくない」などあります。学校において、多様化・深刻化する問題行動に対応・改善を図るため、教育委員会において、子ども支援プロジェクト「さわやか紀州っ子育成プラン」として「学校」「家庭」「地域」「関係機関」等が協力して取り組むための組織・体制を構築し、啓発・向上に向けた横断的・実践的な取組を推進しております。

さらに、現在、子どもを取り巻く環境の中に、携帯電話やパソコンがあります。情報等には、青少年に良好な影響を与えているものも多い反面、問題となるのが有害情報との接触です。社会的・精神的にもまだ未熟な子どもが容易に悪意を持った他人、時には犯罪者に会ってしまうのです。しかも規制が難しく、保護者を介せずに子どもが自由に会話したり、通信したりすることができ、自分の部屋に一人こもって仮想の世界を現実の世界と思うことのない様に、注意、指導していかなくてはなりません。

①子どもが何にアクセスしているのが、関心を持つ。②出会い系サイトの危険性を教えることが大事。

パソコンでは受信側で受信する情報を選択し、表示したくない情報を遮断するためのソフトである「フィルタリングソフト」を利用し、子どもを有害情報から守る方法もありますので、参考にさせていただきたいと思います。

青少年課では、9月県議会で青少年の健全な育成を図ることを目的として、青少年のインターネットの利用環境を整備するための保護者、その他青少年の健全な育成に係る関係者に対し有害情報の閲覧を青少年にさせないよう努めなければならないとする努力義務を設ける健全育成条例の一部改正を推進しているところであります。

少年を健全に育成し、その教育効果を上げるためには、家庭や学校の果たす役割は大きいものがあることは当然ですが、今、地域の人々が連携し、少年を非行から守るため、また少年を加害者にさせないため、少年を守るという住民の方々の思いを具体的な行動にしていくため、関係機関と地域が一体となり、少年の健やかな育成のための取組に向けた動きがみられています。あわせて、青少年課でも自立支援や居場所づくりにより問題を抱える少年の立ち直り事業の推進を本年度から実施しているところでございます。